

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 平成30年6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
③	<p>(事業名・地区) (主) 松江木次線 社会資本整備総合交付金事業 東忌部工区</p> <p>(事業位置) 松江市東忌部町熊山 地内～雲南市大東町 薦沢地内</p> <p>(事業費) 2,800,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は松江市東忌部町熊山から雲南市大東町薦沢に至る1.7km区間をバイパス及び現道拡幅で整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法15条</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：H21年度 用地着手年度：H21年度 工事着手年度：H21年度 完了予定年度：H35年度 経過年数：10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込) 全体で73%の進捗。 ※事業費ベース 用地補償は完了</p> <p>工事の進捗状況は、全体延長1.7kmのうち0.56kmを供用済み。(供用率33%)</p> <p>現在、道路改良工事を施工しており、平成35年度全線完成予定である。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 本路線は松江市と雲南市木次町を結ぶ全長約27.4kmの主要地方道である。今回整備区間は交通量が1万台/日を超える利用者の多い区間であるが、カーブ区間や急勾配区間があるうえ、冬期は積雪が多いため交通の難所となっており年間約10件程度の道路損傷事故が発生し、通行止めも発生している。また、付近には忌部公民館、忌部小学校があるが、現道には歩道が整備されていないことから歩行者及び通行車両にとっては著しく危険な状態となっている。</p> <p>よって、島根県総合発展計画の施策「Ⅱ-1 安全な生活の確保」に基づき、本事業によりバイパス及び歩道を整備し、道路利用者の安全・安心を確保するものである。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 沿線は忌部公民館、忌部小学校があり、歩道の設置など安全な通行環境の整備が望まれている。</p> <p>また、交通難所区間の解消により雲南市大東町と松江市間の広範囲の利便性向上に資するものとして期待されている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 用地買収は完了しており、地元も協力的なため、事業の早期完成が望まれている。</p>	<p>(費用対効果) B/C=算定せず ※交通安全事業については便益の評価手法が確立されていないため</p> <p>(コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令により、地域区分と計画交通量から、道路規格第3種第2級、設計速度50km/h、道路幅員は2車線+登坂車線(3.25m×2+3.00m)と歩道2.5mの全幅14.75mとした。</p> <p>②事業方法の妥当性 家屋等立地状況や地形等を考慮し、経済的なルート案を採用した。</p> <p>③コスト削減への取組 掘削残土を圃場整備の基盤材に流用することにより、工事費を軽減。</p> <p>(その他の効果) 雲南市から松江市立病院など救急医療施設や松江城等主要観光施設へのアクセス改善やバス路線の運行環境改善による生活環境の改善、事故多発箇所の解消などが見込まれる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 集落中心部の一部をバイパス化することにより、通過交通による騒音・振動等の低減を図った。 掘削法面、盛土法面には緑化を図り、自然環境に配慮した工法を採用している。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 災害発生直後から行われる緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的に、本路線は第1次緊急輸送道路に指定されているが、整備区間はカーブ区間や急勾配区間の多い交通の難所であり、安全で円滑な交通の確保や歩行者等の安全が確保できておらず、災害時の緊急輸送道路として機能が発揮できない。 用地買収は完了しており、中止した場合、用地提供者など地元住民の理解が得られない。</p> <p>※第1次緊急輸送道路 島根県と隣接県との広域的な連携を確保する緊急輸送道路ネットワークの骨格となる道路</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) これまで、計画延長1.70kmのうち、0.56kmを供用済みであり、引き続き全線開通を目指して整備を進めている。 現在も事業の必要性は変わっておらず、これまで改良した区間の効果発現のためにも、早期の全線改良を図る必要がある。</p>

『安全』・『安心』な生活幹線道路の整備

主要地方道 松江木次線 東忌部工区

【路線の概要】

本路線は松江市西嫁島町の国道9号を起点として雲南市木次町の国道54号に至る路線であり、松江市と雲南市を結ぶ幹線道路の役割を担うと共に、第1次緊急輸送道路に指定されている防災上重要な路線である

【事業の概要】

1. カーブ区間や急勾配区間があるうえ、冬期は積雪が多い交通の難所となっていることからバイパス及び現道拡幅、登坂車線整備により交通の安全を確保する
2. 付近に忌部公民館、忌部小学校があり、歩道整備により歩行者及び通行車両の安全を確保する

